



宇宙ではトイレはどうやってするの

宇宙船の中では、小便や大便是宙にうく

地球には、地球上のすべての物質や、まわりの空気を地球の中心の方向に引きつけている、引力があります。

宇宙飛行士がスペースシャトルの中で、ふわふわと宙にういていたり、たやすく宙返りをしているのを、テレビで見たことがあるでしょう。これは、地球上では引力がはたらいていますが、スペースシャトルの中は、スペースシャトルが地球の周りを飛ぶことができる遠心力と、地球の引力がつりあっているからです。

宇宙船の中で小便をすると、小便はたくさんの水の玉になって、宙にうきます。また、大便をしても、ストンと落ちないで、そのままだと、おしりからはなれていきません。

もし、おしりからはなれていっても、容器の中に閉じこめないと、宇宙船の中にふわふわとういてしまいます。

空気ですと吸って集める

初めのころの宇宙飛行では、時間も短かったのでトイレもなく、宇宙飛行士は、おむつをしていました。飛行時間が長くなるにつれて、殺菌剤の入ったビニルぶくろに大便を取り、地上に持ち帰りました。

現在では、安心して使えるトイレが作られています。トイレを使っているときに、体がふわふわとうき上がらないように、足やももをおさえる装置がついています。そして、小便や大便は別々に取り、空気ですと吸って集められています。小便は吸い取られた後、空気と水分に分けられ、水分はタンクに集められます。大便は、トイレの下のタンクのかべの内側に、回転羽を使ってくっつけてしまいます。（監修・国司 真）

